



平成29年度 長沢中学校 学校評価報告

平成 30年3月
学校長 吉川 和良

このたびは、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校評価アンケートは、①開かれた学校づくり ②教育活動、内容の質の向上 ③学校の活性化 ④教職員の資質向上を目的として、全校生徒、保護者を対象に実施しました。アンケート結果について、ここに報告させていただきます。

<評価アンケート実施対象者と回収率>

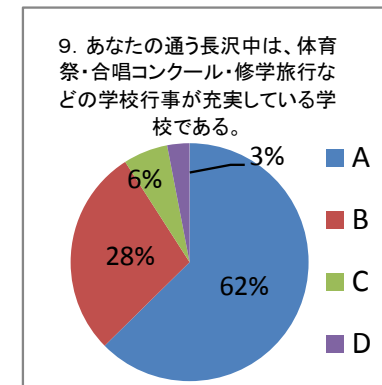
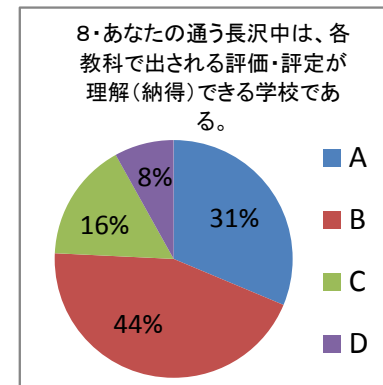
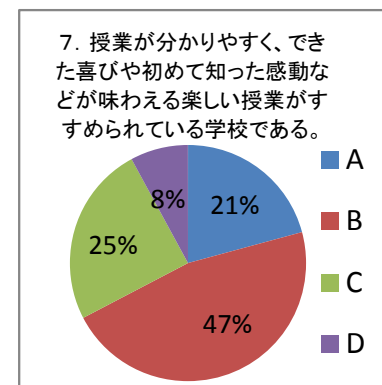
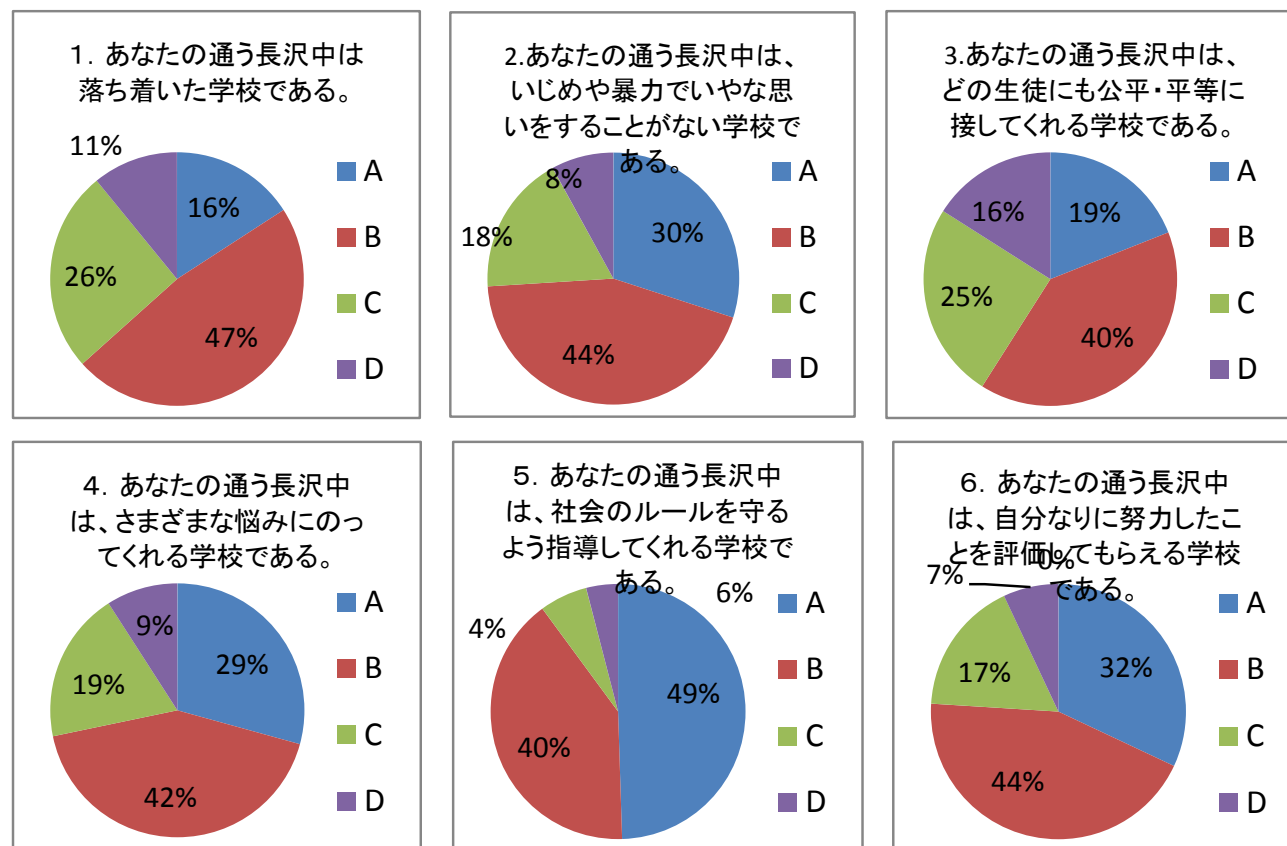
生徒による評価の回答数

1年生	143名 (在籍147名)	97.2%
2年生	138名 (在籍145名)	95.1%
3年生	140名 (在籍145名)	96.5%
5・6組	17名 (在籍17名)	100%
回答数	438名 (在籍454名)	96.4%

保護者による評価の回答数

1年生	118名 (在籍147名)	80.2%
2年生	107名 (在籍145名)	73.7%
3年生	109名 (在籍145名)	75.1%
5・6組	14名 (在籍17名)	82.3%
回答数	348名 (在籍454名)	76.6%

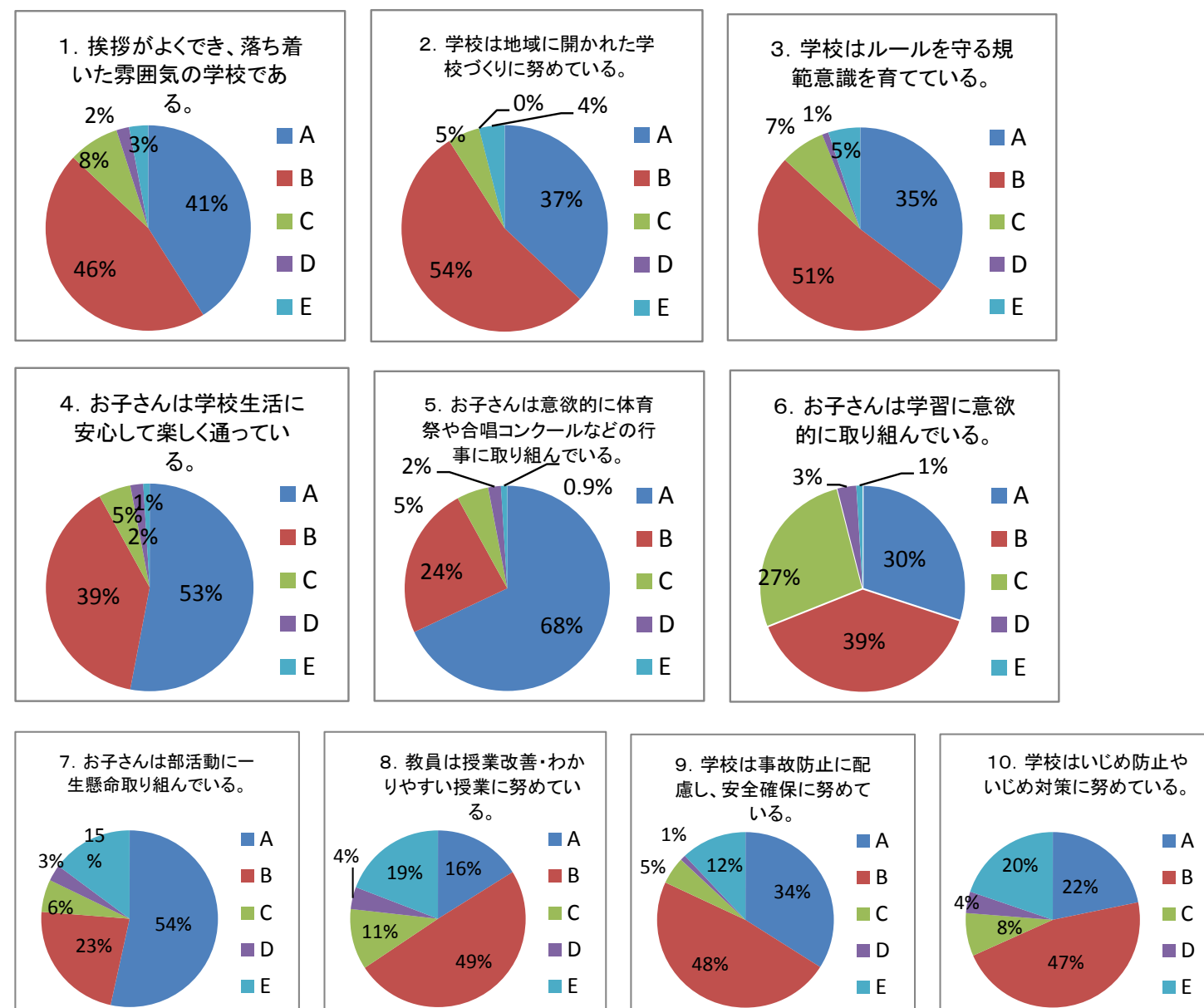
<生徒用アンケート集計結果>



生徒 A:よくあてはまる
B:ややあてはまる
C:あまりあてはまらない
D:あてはまらない

保護者 A:よくあてはまる B:ややあてはまる
C:あまりあてはまらない D:あてはまらない
E:判断できない

<保護者用アンケート集計結果>



【学校長より】

今年度の学校評価において幾つかの質問項目を変更しました。これは、学校評価の趣旨である『学校の教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指す』に沿うようにするためです。

さて、今年度の結果においても肯定的な回答が多く、概ね良好な結果になりました。特に、学校行事については今回の結果からもその目的は達成されたと思います。ただ、全体的に「B:ややあてはまる」が多く割合を占めており、改善の余地が十分にあると考えられます。特に、生徒アンケート1.「落ち着いた学校」や保護者アンケート8.「わかりやすい授業」については学校教育の根幹をなす部分であり、学校として組織的・継続的な改善に努めていきます。アンケートへのご協力ありがとうございました。

【教務】

* 体育祭や合唱コンクール等の『学校行事』への参加状況は、『意欲的』と答える生徒は90%、保護者92%がそう回答しています。これは、毎年90%を越えていて、多くの生徒が前向きに行事に取り組んでおり、充実感を感じています。(→生徒アンケート9・保護者アンケート5)

* 長沢中学校では、『開かれた学校づくり』を心がけています。授業参観を年4回(3年生は3回)実施し、保護者・地域の方々に公開しています。4回のうち1回は『オープンスクール』とし、全日公開、部活動中の様子等も参観できるようにしています。また、『学校へ行こう週間』(10/23~11/1)では、『合唱コンクール』への各クラスの取り組みの様子等もご覧頂いています。(→保護者アンケート2)

◇『学校行事』(授業参観・行事・PTA活動等)への保護者の参加意識は高く、毎回多くの保護者が学校へいらしてくださっています。これからも、保護者のご理解とご協力を得て、豊かな教育を提供できるよう努力を続けます。

【生活】

* 規範意識について生徒と保護者観に多少のズレを感じますが、学校の生活場面で多くの現象での啓発と指導を行っています。これからも安心して学校生活を送ることができるよう、教職員が一丸となって取り組んでいきます。(生徒アンケート5・保護者アンケート3)

* 社会性を育ませるため、集団で生活していくために、どのようなことを考え、実際の活動に移っていかねばならないかを、地域・家庭・学校と三者が相互理解していけるようにしていきます。(生徒アンケート1, 2, 5・保護者アンケート1, 3, 4, 10)

* 「生活アンケート」「二者面談」「校内巡視(生徒観察)」などを通して、いじめ防止に努めるだけでなく、地域・保護者との情報交換を密にし、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送れるように努めていきます。(生徒アンケート2・保護者アンケート10)

◇「スマートフォン」「インターネット」などの使用の仕方が、近年大きな課題です。学習面を含めた家庭生活及び、学校生活から波及する人間関係について良好な状況であるように、各家庭の協力、生活への啓発を行っています。

【学習】

* 自分の考えを伝えたり、他の考えを聞いて考えを深められるようなグループ活動を取り入れ、学びあいに取り組みましたが、よりわかりやすい授業づくりを目指し、学ぶ意欲や喜びを引き出していけるような授業改善に努力を続けます。(生徒アンケート7・保護者アンケート8)

* 家庭学習のしおりを作成し、各教科や学年で家庭学習の定着について取り組みましたが、学習習慣には課題を感じます。課題の提示を工夫し、家庭学習習慣へとつなげることで、学習意欲をうながしていけるよう努力します。(保護者アンケート6)

* 評価・評定への理解が、授業に対する意欲ともかかわってくることから、今後も教科面談や、授業内での評価に対する具体的な説明を通して、生徒一人ひとりが到達目標を目指して学んでいけるよう、努力をします。(生徒アンケート8)

【支援】

* 学校はいじめ防止やいじめ対策に努めていると69%の保護者が答えていますが、『判断できない』との回答が20%に及んでいます。また、「いじめや暴力でいやな思いをすることがない」に対し26%の生徒が否定的な回答をしています。このことから、いじめを許さない、いじめのない学校・学級づくり。生徒たちのちょっとした変化も見逃さないよう心掛け、いじめ対策に更に力を入れていきたいと考えています。(生徒アンケート2・保護者アンケート10)

* 「さまざまな悩みに乗ってくれる学校である」と71%の生徒が回答しており、相談しやすい雰囲気づくりに努めた成果がわずかながら表れています。生徒との信頼関係を大切にし、相談しやすい相手に相談できる人間関係づくりに今後も努めていきます。(生徒アンケート4・保護者アンケート4)

* 「どの生徒にも公平・平等に接してくれる」に41%、「自分なりに努力したことが評価してもらえる」に24%が否定的な回答であることから、指導や評価に対し生徒と教師との間にズレが生じていると推測できます。支援教育という観点からも、対話する時間を大切にし、生徒一人ひとりへの理解を深めていくことを今後の課題としていきたいと考えています。(生徒アンケート3, 6)

【管理・運営】

* 校内の破損については、事故防止・安全確保のために、素早く対応・修繕を行っています。学校の立地や構造上の問題もあるので事故やケガのないよう、日常の生活の仕方に指導しています。また、物を大切にすることを指導も継続していきます。(保護者アンケート9)

◇「防災教育」向上のために、「避難訓練」を実施し、生徒も意識を持って取り組みました。防災頭巾を各自持参し、教室に置くことになってはいますが、用意できていない生徒も見られます。万一の場合に命を守るものですので、各家庭で用意していただけると幸いです。